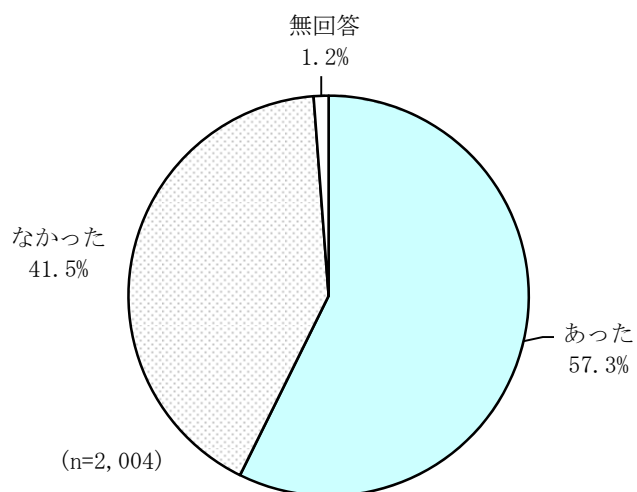


6. 子どもが病気やケガの際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無

問19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。【〇は1つだけ】

【子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無】



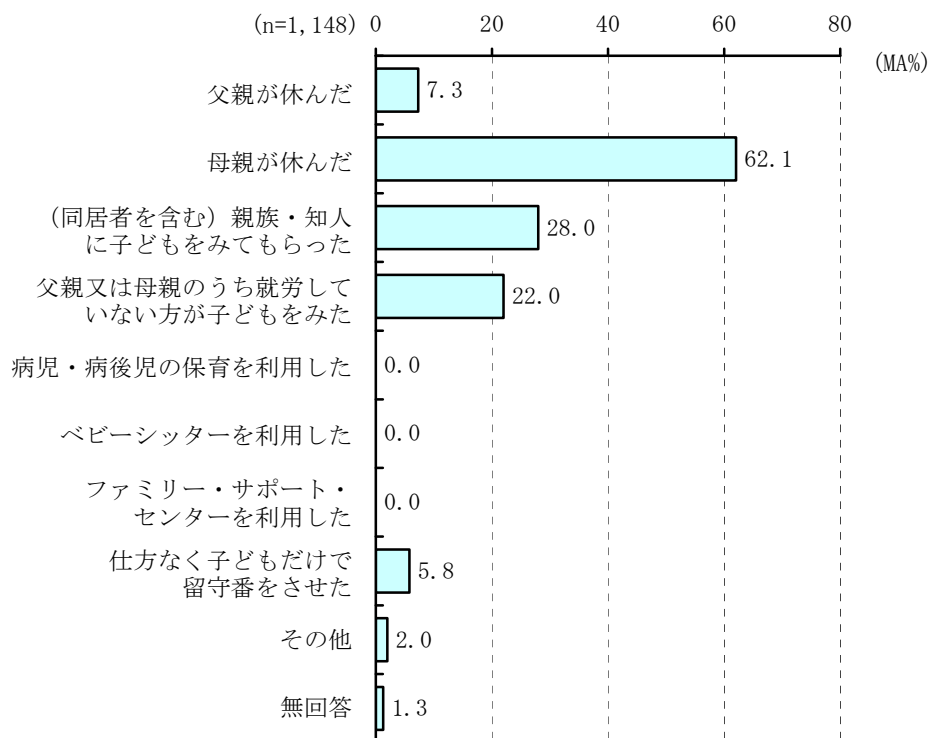
子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無をみると、「あった」が57.3%、「なかった」が41.5%となっている。

(2) 子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対応

問19-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】  
また、その日数は概ね何日ですか

【子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対処方法】

※ここ1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだ人



子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対応をみると、「母親が休んだ」が62.1%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(28.0%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(22.0%)の順となっている。

順位	問19-1 その他内容	件数
1	自営の為、自宅で見た	8
2	たまたま休みだった	5
3	育児休業中等で母が見た	2
4	家で仕事をしながら見た	1
4	夜勤専属なので仕事は休まず、寝ずに見た	1
4	子どもと母親が同時にインフルエンザになった	1

【対処に費やした日数（年間）】

※ここ1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだ人

	全体	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
父親が休んだ	84 100.0	70 83.3	8 9.5	5 6.0	- -	- -	1 1.2
母親が休んだ	713 100.0	430 60.3	150 21.0	87 12.2	6 0.8	4 0.6	36 5.0
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを みてもらった	322 100.0	224 69.6	61 18.9	22 6.8	1 0.3	- -	14 4.3
父親又は母親のうち就労していない方が 子どもをみた	252 100.0	126 50.0	66 26.2	35 13.9	4 1.6	1 0.4	20 7.9
病児・病後児の保育を利用した	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	67 100.0	51 76.1	9 13.4	2 3.0	1 1.5	1 1.5	3 4.5
その他	23 100.0	14 60.9	3 13.0	2 8.7	-	-	4 17.4

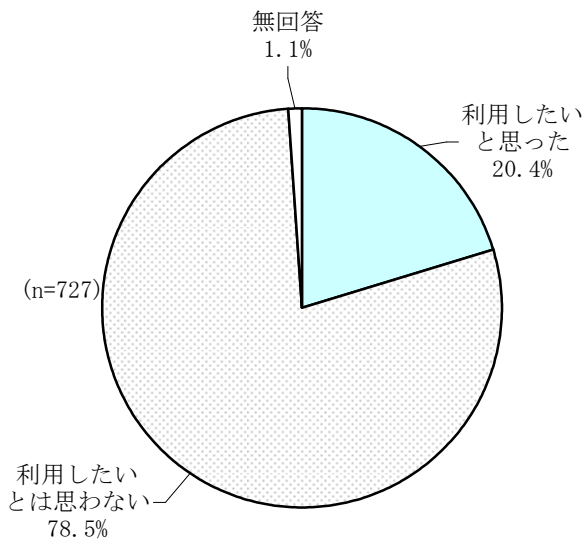
上段：実数、下段：%

(3) 病児・病後児保育事業の利用希望

問19-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
【○は1つだけ】また、その場合の日数はどれくらいありますか

【病児・病後児保育事業の利用意向】

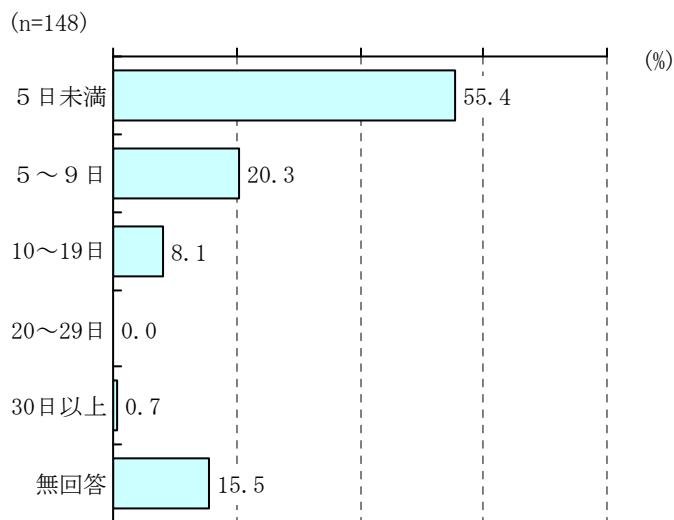
※父親もしくは母親が仕事を休んだ人



病児・病後児保育事業の利用希望をみると、「利用したいと思った」が20.4%、「利用したいとは思わない」が78.5%となっている。

【病児・病後児保育事業の利用希望日数（年間）】

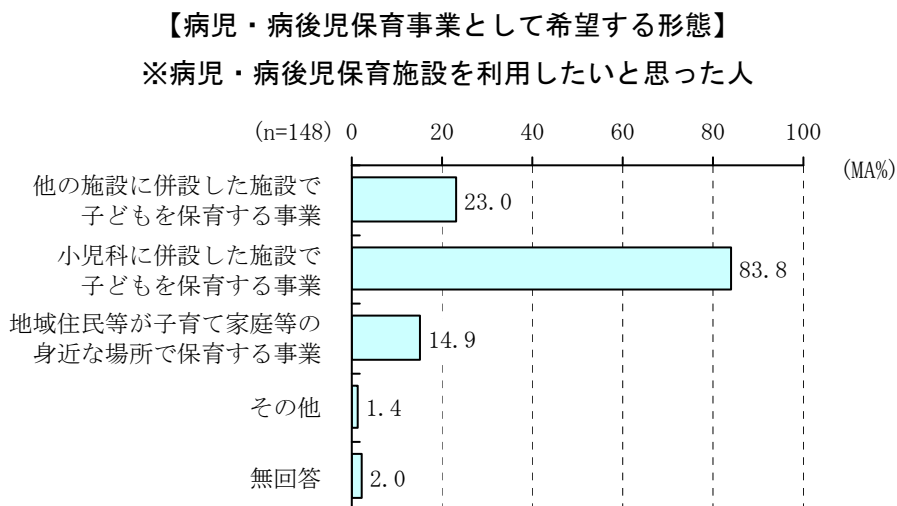
※病児・病後児保育施設を利用したいと思った人



病児・病後児保育事業の利用希望日数（年間）をみると、「5日未満」が55.4%で最も高く、次いで「5～9日」(20.3%)の順となっている。

(4) 病児・病後児保育事業として希望する形態

問19-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

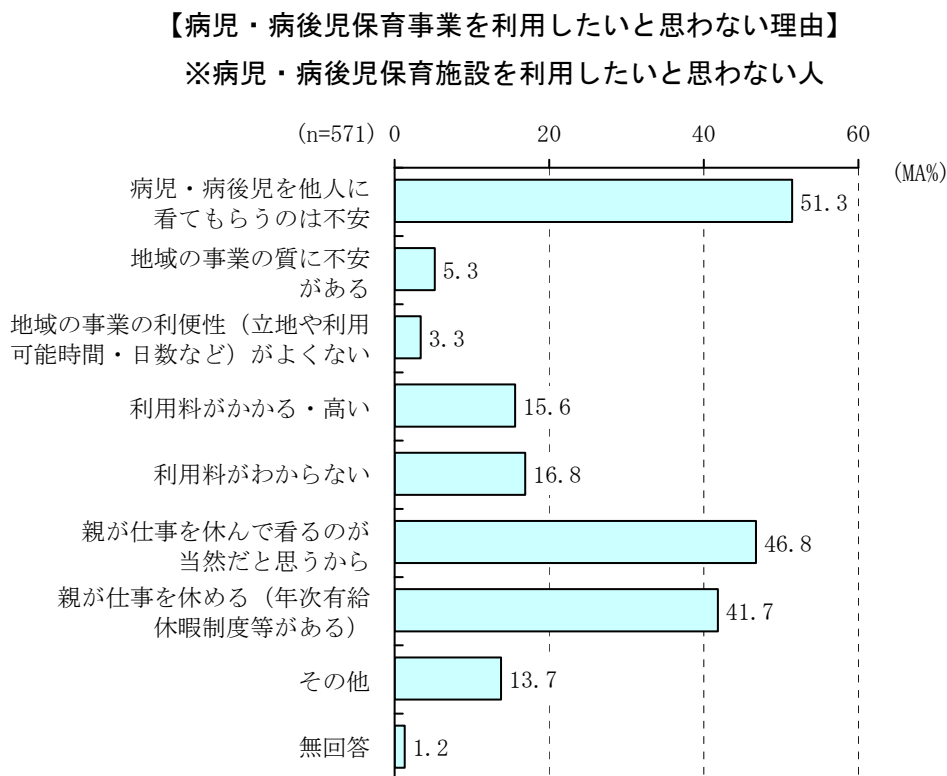


病児・病後児保育事業として希望する形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.8%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(23.0%)の順となっている。

順位	問19-3 その他内容	件数
1	自宅で看てもらえる人	1
1	遠慮なく預けられる施設	1

(5) 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由

問19-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。  
【○はあてはまるものすべて】



病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が 51.3%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで看るのが当然だと思うから」(46.8%)、「親が仕事を休める（年次有給休暇制度等がある）」(41.7%)の順となっている。

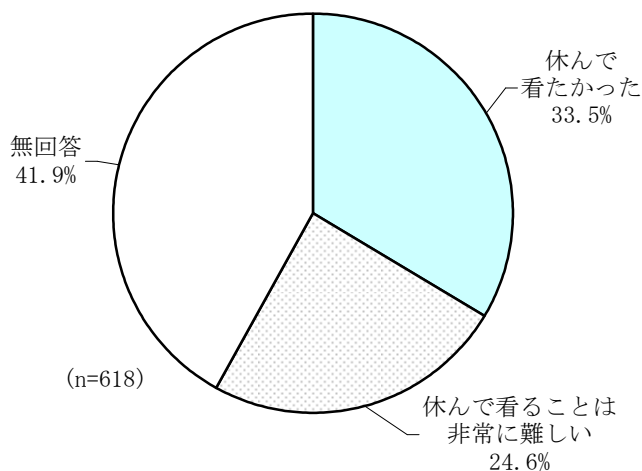
順位	問19-4 その他内容	件数
1	祖父母や看てもらえる人がいるから	22
2	子どもが不安な時に一緒にいてあげたいから	11
3	仕事が休めるから	10
4	子どもの負担が心配	8
5	年齢的に、一人で家にも大丈夫だと思って	5
6	そのような施設があることを知らなかった	3
6	仕事をしていないので必要ない	3
6	子どもが嫌がるから	3
9	ほかの病気がうつるのが心配	2
9	小野市に施設があることを知らなかった	2
-	その他	11

(6) 子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

問19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。  
 【○は1つだけ】  
 また、その場合の仕事を休んで見たかの日数はどれくらいありますか。

【父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか】

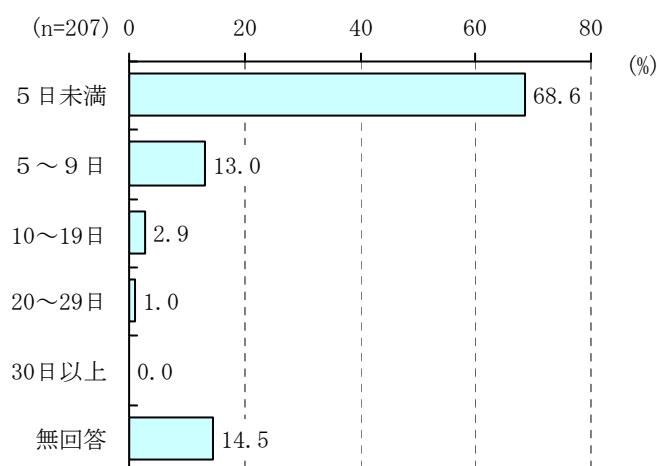
※父母以外が子どもを見た人



子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかをみると、「休んで見たかった」が33.5%、「休んで見ることは非常に難しい」が24.6%となっている。

【仕事を休んで見たかの日数（年間）】

※父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思った人



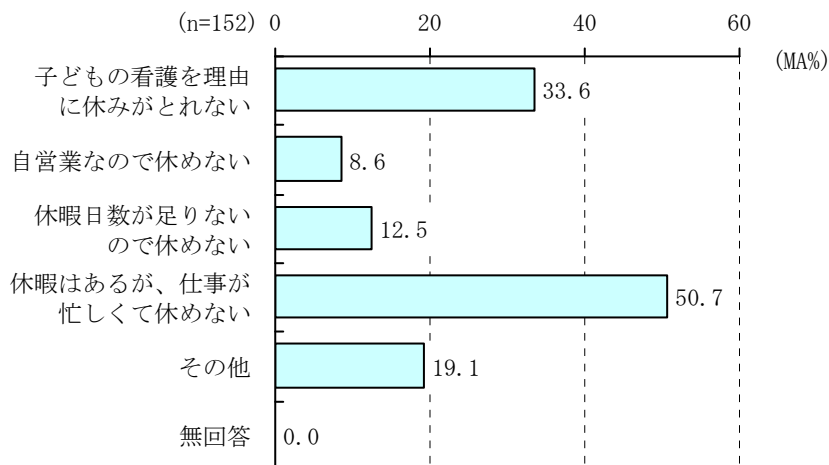
休んで見たかの日数（年間）をみると、「5日未満」が68.6%で最も高く、次いで「5～9日」（13.0%）の順となっている。

(7) 子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由

問19-6 その理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

【子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由】

※父母のいずれかが仕事を休んで看することは非常に難しい人



子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由をみると、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない」が50.7%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(33.6%)の順となっている。

順位	問19-6 その他内容	件数
1	見てくれる人がいるので必要がない	8
2	経済面の理由で休めない	4
3	代わりがないので休めない	3
3	休みを取りづらい職場である	3
5	重い病気ではなかったから	2
5	休むと他の人に迷惑がかかるから	2
-	その他	8